

「がん予防・早期発見・情報提供の推進について」の答申案趣旨について

答申案 趣旨

- ・ 各種検診については、科学的根拠に基づく検診を実施すると共に先進的な知見の集約に努めつつ、早期発見のための検診のあらゆる可能性を追求しその有効性について市民又は事業者への周知に努めること。
- ・ がん対策推進にあたっては、具体的な数値目標を示し市が取り組んでいる事業評価を明瞭にし目標達成に努めること。

平成25年10月3日の審議における意見

乳がん検診について

- ・ 40歳以下の方は乳腺が発達しているのでマンモには映らないケースがあるため、30歳代にはエコーを追加すればがん発見率はあがるのではないか。
- ・ エコーに関しては検査精度が向上していることから、有益であるとは考えるが、導入についてはエビデンスが出てから導入すべきではないか。

肝炎ウイルス検診について

- ・ 検診の受診者数が少ないことや医療費助成が少ないことから、職域での検診に周知し検診を受診してもらうような仕組みはできないか。
- ・ 市と産業保健センターが協力し、産業保健センターから企業への啓発、堺市も啓発するといった連携をとればどうか。

がん予防早期発見の啓発について

- ・ 検診をしてどのくらい上げたらどのくらいのパーセンテージの死亡率が下がるか、具体的な数値目標を示すようなまとめ方をすれば、非常にわかりやすいのでは。
- ・ 推進条例の取り組みに関して具体的なプランが出ているが、これに数値目標を入れるとか、それに向かってPDCAを回す等の方向で取り組んでもいいのではないか。